

昨日、ふと見上げた青空に、白くもここした入道雲がよく映えていました。もう夏の到来ですね。今年は、例年に比べ梅雨明けも早かったので、長い夏になりそうですね。くれぐれも熱中症に気をつけ、元気に夏を乗り切りましょう。

さて、郷内探究班別活動から1か月が過ぎました。生徒たちは、それぞれの場所で待機して下さっていた郷内歴史保存会をはじめ地域の方々、ご住職様、倉敷帆布の皆様と対話をしながら過去にタイムスリップし、郷内の魅力を再発見しました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。



【生徒の感想から】

- 郷内の史跡を学習できてよかったと思う理由は、2つあります。1つ目は、郷内の中で行ったことのある場所も、行ったことのない場所も、今まで知らなかったことがたくさんあり、よりくわしく郷内のことがわかったからです。2つ目は、班で協力して活動できたからです。正直、最初は班長としてみんなをまとめていけるのか心配だったけど、副リーダーも手伝ってくれたので、協力して楽しい郷内班別になりました。
- 「首切り地蔵」がずっと気になっていました。実際に行って、保存会の方に「100mおきにお地蔵様がある」ことをお聞きし、「どこまで続いているのだろう」と、さらに興味がわきました。また、行く途中に出会った地域の方が、「毘沙門堂にも行ったの？」と声をかけてくださり、地域の方々の温かさを感じることができました。改めて、郷内は素敵な場所なんだなと思いました。
- 13年間郷内に住んでいたのに、まだまだ知らないことがあって驚きました。郷内に住んでいると、史跡と暮らすことが普通だけど、時代を超えて存在する史跡の多さは普通ではないのではないかと思います。もっと、郷内を知りたいと思いました。
- 今回の活動で学習したことで、今まで郷内について知っているようで知らなかったことがたくさんあったということがわかりました。郷内について「多分知っている」ことより、「知っている・わかった」と言えることが増えました。
- 家族にももっと郷内のことを知ってほしいと思いました。
- 倉敷帆布について全く知らなかったけど、倉敷帆布が日本中で有名だということがわかった。
- こういう活動がないと、お寺の中や建物の作りや天井画などが見られないし、お話が聞けないので、郷内のことに少しくわしくなり、いい体験ができたと思います。
- ネットや本だったら、どんなところははっきりわからなかったけど、実際に行ってみたら「今は、こういうふうになっているんだ」と、しっかり目で見ることができたのでよかったと思います。

(裏面に続く)

まもなく各班で協力して作成したまとめが完成します。発表ができる日が待ち遠しいです。生徒の感想にもあったように、ネットや本で得た知識も、実際に足を運んで見聞きすると、より深く鮮明に心に残るものですね。



クリーン作戦

今年度の「クリーン作戦」は、コロナ対策のため、地域の方々と一緒にはできませんでしたので、中学生は各学年ごとにお世話になっている地域で清掃ボランティア活動を行いました。1年生は、郷内幼稚園と山竹公園に行きました。

幼稚園では、松井園長先生が、「こういう形で幼稚園と中学校が連携できることをたいへんうれしく思います。日頃、窓ふきの手が足りないので、助かります」とおっしゃいました。1年生は、少しでもお役に立ちたいという思いで、窓ふきと落ち葉拾いをさせていただきました。山竹公園では、郷内小学校の先生方と保護者の方々、郷内幼稚園の保護者の方々と一緒に大量の草を抜きました。あっという間にきれいになり、なんだか心もすっきりしました。



校内人権週間

6月6日(月)から10日(金)の5日間は、校内人権週間でした。朝読書の時間に各クラスで文化委員が、「いじめ」「戦争と平和」「オリンピックとパラリンピックの統合」などについての生徒作文を朗読し、人権について考える時間をもちました。また、8日(水)には、社会福祉法人 岡山いのちの電話協会から牧野 寛先生にお越しいただき、いのちの電話で出会った思春期の子どもたちとの貴重な体験談を伺いました。



先生は、お話の中で、「心理学者エリクソンの発達段階」について触れられ、次のように話されました。「中学生や高校生にあたる13歳から18歳までの青年期は、「自分は何者なのか」「将来どうやって生きていこうか」などと自我意識が高まり、自分に興味をもつ時期である。そして、親からの自立の第一歩を踏む時期でもある。交友関係に変化がある時期でもある」と。

中学校生活に慣れはじめ、いろいろなことが見えてきた今、それぞれに悩みを抱えていることと思います。友達や先輩との人間関係、勉強の仕方、部活動への取り組み方など。少しでも心が軽く前向きな生活が継続できるように、自分の悩みをだれかに相談しながら心の安定を図ってほしいと思います。

世界中を探しても自分と同じ人はいない。自分のとなりにいる人も、世界でたった一人のかけがえのない人。だから、だれかが困っていたら、「自分だったらどうしてほしいかな」と考えて行動しよう。いつもハートフルに!

【生徒の感想から】

- 今日のお話を聴いて、母親との関わり方についてもう少し考えたいと思った。改めて人は個性があり、人と違うからこそ良いということを感じたので、自分の気持ちを隠さずに言っていこうと思いました。
- 大人になっても悩みをもっていることを知りました。また、私と同じくらいの子でも私の悩みよりもっと深刻なものがあることを知りました。悩んでいる人がいたら、いろいろな相談場所があることを教えてあげたいと思いました。
- これから思春期になっていくと、いろいろと一人で抱えることも増えて苦しくなることがあるかもしれないけど、自分らしく前向きな気持ちを忘れずに生活していきたいです。

【保護者の皆様へ】

昨日、お子様便で「保護者懇談の開催について」を配布いたしました。

夏休み前の7月14日(木)・15日(金)に、1学期のお子様の学校での様子や課題等についてお話をさせていただきます。切り取り線から下の「懇談日時希望調査」を7月5日(火)までに担任に提出してください。配布が遅くなり、申し訳ございませんでした。